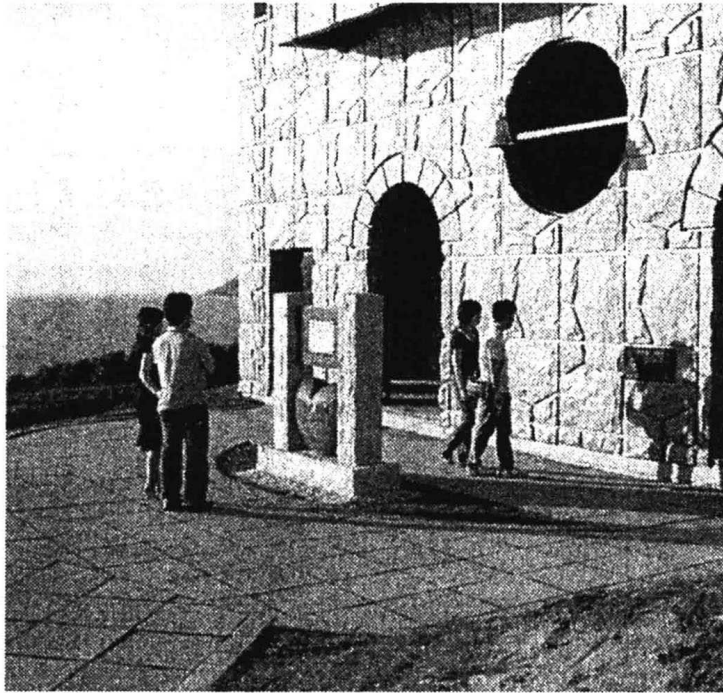


厚田公園 あす初の結婚式

カップルに大人気の「恋人の聖地」。3日は結婚式の会場となる



「聖地」で誓う永遠の愛

市内の細川さん・岩瀨さん

【石狩】市内厚田区の厚田公園にある「恋人の聖地」で「プロポーズの日」の3日、市内のカップルが結婚式を挙げる。昨年8月に誕生した恋人の聖地での結婚式は初めて。新郎新婦の友人や田岡克介市長、訪れたカップルに見守られ、永遠の愛を誓う。友人たちは「恋人の聖地は愛を誓うには最もふさわしい場所。みんなで祝福したい」と張り切っている。

(岩瀨貴弘)

結婚するのは、会社員の細川貴憲さん(38)と居酒屋店主の岩瀨理香さん(35)。カップルに一番ふさわしい場所で式を挙げてもらおうと、共通の友人で市内でバーを営む鈴木満さん(38)が発起人代表となり、四月から準備を進めてきた。

式は宗教にとらわれない人前式で、同日午前十一時にスタート。発起人のあいさつに続いて、新郎がプロポーズの言葉を述べた後、指輪の交換の代わりに、特設のフェンスに錠前を掛ける。

出席者には、地元の日本地麦酒工房が「恋人の聖地」をテーマに発売したピンク色の発泡酒「カナストリー」が振る舞われ、二人の門出を祝う。二人の出会いから交際

ピンク色の発泡酒で祝福

を見守ってきた鈴木さんは「二人が結婚することになり、感慨深いものがある。思い出に残る式にしたい」と祝福する。

発起人の一人で、式のプロモーションを担当する日本地麦酒工房の中島量専務(35)は「恋人の聖地」がさらに盛り上がり、地域振興にもつながる。今後もカップルを応援したい」と話している。

一方、石狩観光協会などは恋人同士に思い出の品を残してもらう伝言作りに体験を、同日正午から、恋人の聖地で行う。デジタルカメラで撮影した記念写真をラベルにすることができ、先着四十個限定で、料金は五百円。問い合わせは同協会 ☎ 62・4611へ。